

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	からふるしーど。		
○保護者評価実施期間	2025年1月10日		2025年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2025年1月18日		2025年2月18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	回答いただいた方全員が、総合評価は満足と答えて戴いており、総合点では合格を戴けたと思われる	管理者が、24時間体制できめ細やかな保護者対応を行っており、利用開始時のアセスメントに限らず、常にニーズや意向を汲み上げる対応をしている。	万人にご満足戴けるサービスはないと考えているため、時に保護者等とのトラブルも生じるが、からふるしーどを好きと言って戴ける方に喜んで戴けるよう邁進する。
2	児童毎のオーダーメイドの支援、活動に関して、保護者に伝わっており、ご満足戴けているとの声がある	職員により知識や専門性、意識にばらつきがあるものの、社内で定めた一定の知識や技術を持つ職員が今年度倍増した。専門性が問われる立場であることを自覚して、知識や技術の向上に積極的に取り組める職員こそ、評価している。	来年度から新しい部署を立ち上げ、社内の法令順守を強化するが、法令順守だけでなく、同時に支援の質に対してもその確保を目指したチェック体制を整備し、専門性をしっかり担保できる職員が力を発揮しやすい現場作りに取り組む。
3	職員一人一人の人柄	これまで、職員の入れ替わりはあったものの、現状が、これまでで一番雰囲気の良い支援現場となっていて感じている。各自が、それぞれにまじめで、優しい人たちであることは、子どもたちに伝わっていると思われる。	人として、まじめで、優しいことは素晴らしいことではあるが、前述したように、発達支援現場には、専門性、知識や技術が非常に重要であるため、現場全体の意識向上を図り、底上げを目指したい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	総合評価としてはご満足戴けている反面、「わからない」が多く、認知されていない活動やサービスがあるようである。	連絡の取りづらい保護者や、SNSなどを見ないタイプの方もおられ、事業所としての広報内容を認知されていない可能性がある。	紙媒体での定期通信など、現状の広報以外の手段の実施を検討する。
2	利用を開始して間もない方が、児童の安全確保に関する活動の有無を認識できていない(伝わるように伝えられていない)	活動計画が直前まで決まらず、年間スケジュールなど、見通しが立てられる資料の配布が現状ない。	今期、人員入替含む組織改変を実施したので、支援現場の雰囲気は大きく改善された。これまで、実施できなかった仕組みや制度を、順次整備している。
3	職員の知識や技術にばらつきがあるが、支援現場に、明確なリーダーを設定できておらず、その日の支援の質が、勤務する職員の力量に左右されてしまう	会社として、リーダーシップを発揮できる職員を採用できていないことが最大の要因であるが、現在の職員の中にも、充分その力がある職員がおり、会社として十分にエンパワーメントできていないことが問題と考えている。	組織図を見直し、社内資格や、役職の付与など、必要な権限を付与していく、さらなる組織改変に取り組んでいく。